



JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

令和2年3月31日 第9巻(第3号)

発行：東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

Mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

## もくじ

### 巻頭言 2020年3月11日に思う

1. 在職2年間を振り返って
2. 2019年度グループワーク(夢と希望の会)報告
3. 新職員 自己紹介
4. 災害支援チームからのお知らせ
5. 災害支援ニュース発行のお知らせ

### 編集後記

# お 知 ら せ

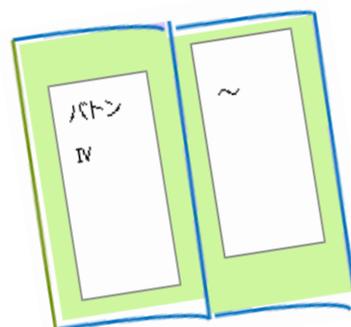
## 「東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン

I ~ IV」

が発売されています！！

詳細は、協会ホームページ

及び 【1. 書籍販売】をご覧ください。



## 石巻市応急仮設住宅等現況報告

応急仮設住宅（プレハブ住宅）入居状況（令和2年1月末現在）

入居戸数 0戸 入居人数 0人

応急仮設住宅（民間賃貸借上住宅）入居状況（令和2年1月末日現在）

入居戸数 3戸 入居人数 5人



## 1. 在職2年間を振り返って

石巻事務所

現地担当 清水 大地



私は、協会石巻現地職員として2018年4月に入職し、2年間の勤務をさせて頂き、今年度3月をもって協会職員を退職致します。

この2年を振り返り、仮設住宅や復興住宅で生活される方々と関わる中で学んだことがあります。それは、社会福祉士とは、「選択に立ち会う」仕事なのではないかということです。これまでたくさんの「選択」の場面に立ち会わせてもらいました。仮設住宅の転居先をどこにするのか、どうやって引っ越すのか、引っ越すにあたって物を処分するのか、そして、医療への受診を再開するか、生活保護の申請をするか等、その人の人生を大きく左右する選択の場面がたくさんありました。

その中で感じたのが、「選択」とは、葛藤があり、体力と精神力を消耗してゆく、大変大きなことだということです。そして、必ずしも「これを選んで良かった。」で終わることだけではないということも知り、その時は私自身の力のなさを改めて突き付けられました。そこから、ただ選択肢となる情報を提供するだけではなく、その方が納得して「選択」するためには、こういった過程を踏んでゆくのが良いのか、その方を理解し、一緒に考えてゆける力が社会福祉士には必要なスキルだと感じました。

私には、石巻市に来て忘れられない景色があります。それは、入職して間もなく石巻市役所のエレベーターの中から見た石巻市内の景色です。何気ない景色かもしれませんが、しっかりと理由があります。

私は、現在の職に就くまで社会福祉士として働いた経験がありませんでした。勤務初日を迎えると、朝の申し送りから飛び交う言葉についてゆけず、期待が不安へとどんどん変わってゆきました。そんな不安を抱く中、市役所へのあいさつ回りに行きました。石巻市役所に入るのも初めてで、不安を抱きながらエレベーターに乗ると、エレベーターが上に挙がっていくにつれ石巻駅の屋根にかかれた絵や石巻市内がどんどん見えてきました。あいさつ回りに一緒に行った先輩職員が「ほら、石巻の市内が見える。」「駅の屋根の絵が見える。」と、エレベーターの中から石巻市内を案内してくれました。その時、感じていた不安がスーッと消え、どんどん視界に入ってくる景色と先輩職員の言葉に緊張がほどけていきました。その時の景色が、私が石巻市に来て大きく印象に残っています。

この2年は、「社会福祉士として仕事をする」という自分自身を確立することから始まり、人の話を聴く難しさを知り、関係機関の方々と仕事をする難しさを知りました。半面たくさん

の方々に会い、たくさんの温かい言葉やたくさんの笑いをもらうことができました。

社会福祉士として右も左も分からない私を2年間働かせて下さった、各種関係機関の皆さん、協会関係者の皆さん、そして石巻現地職員のみなさんには大変感謝しております。本当にありがとうございました。この2年間の経験を次にも活かせるよう、努めて行きたいです。



石巻市役所から見える石巻駅の風景

## 2. 2019年度グループワーク(夢と希望の会)報告

石巻事務所

現地責任者 福井 康江



「夢と希望の会」は、以前の「男のあそぼう会」を継承して、孤立しがちな独り暮らしの男性同士の交流を主として情報発信や共有できる集いの場となるよう、共生地域創造財団の方々の協力もあり、2018年7月より立ち上げました。

気軽に集まって、一緒に何かをしてみませんか？

一緒に話をしてみませんか？

一緒に話を聞いてくれませんか？



を、グループ全体のメッセージとして毎月の案内にも記載しています。

年度初めは6名のメンバーでしたが、メンバーからの紹介もあり途中から2名の新規若手

メンバーが加わったり、30代のサポーターの方にも恵まれ、全体的な若返りが図られました。しかしその一方で、メンバーの入院や体調不良なども続き、心配することもありましたが「会に参加したい」と療養に努めてくれました。また、メンバー同士で出かけることや別の集まりに初めて参加したメンバーも出てきて、日ごろの活動が広がってきていることを感じることができました。私達も含め、会の中で支え合うことの大きさや必要性を、強く実感することができた一年となりました。次年度は体力づくりを柱に、会を進めて行きたいと思います。

### 【内 容】

2019年6月 ボッチャと調理（3色そば）

7月 特別編 納涼祭（花火観賞とバーベキュー）

8月 ボッチャ交流戦（於：復興住宅の団地会集会所）

10月 釣り（於：鮎川港、ビジターセンターでの食事）

11月 調理（炊き込みご飯とあら汁）

12月 忘年会（於：カラオケまねきねこ）

1月 新年会（調理：うどんとお汁粉、防犯カルタ）

2月 楽しく体を動かそう（体操、ボッチャ 於：レインボーハウス）

\*会の前にガストで会食

3月 中止

会場も様々で、外出や外食もあり、調理の時の買い物も分担して行いました。皆で食べることも大いに楽しむことができました。メンバーから沢山希望が出て、内容を決めることができました。



### 3. 新職員 自己紹介

石巻事務所

現地担当 平野 裕司



今年2月から日本医療社会福祉協会の災害支援チームに入職いたしました。出身は岩手県釜石市です。高校を卒業した年の3月11日に東日本大震災が発生。進学予定の大学は仙台市にあり、入学式は1か月遅れて行われました。大学卒業後は同大学大学院に進学。災害時のソーシャルワークのあり方について研究していました。

石巻市には大学入学後ボランティアや調査で仙台から通って来ておりましたが、入職に伴い石巻での生活をはじめることとなりました。まだ、1か月程度しか経過しておりませんが、地元釜石と似た空気。近所の皆さんや通学途中の学生と交わす挨拶になんとかほっこりしております。

一方で先日こんな場面に遭遇しました。なんらかの理由で家族と離れ生活をしている男性の単身生活者で労働・経済・身体・精神・生活技術・家政管理・人間関係に関する様々な生活課題を抱え、発見された時には住居はゴミ屋敷状態だったそうです。支援者の1人が男性に「今後どのように生活したいのか？」と聞くと、「なんとかしたい。でも、慢性の病気があり、なかなか調子もよくない」と話したそうです。後日訪問すると庭には男性がとった草が…。その後、専門職や地域住民が関わり、庭や住宅内の清掃活動を実施。現在は昨年発生した台風19号で壊れた住居の修復作業が行われており、生活環境が少しずつ整い始めています。

その家に先日、上司と訪問しました。その日は何ヶ所かの支援者が集まっており、その中で工事に伴う住居内の片づけについての話しになりました。しかし、「これはうちのサービスではできません。」「家族は…」等の制度（フォーマルなサービス）では対応しきれない問題に直面しました。また、この時、本人は一言も話しませんでした。

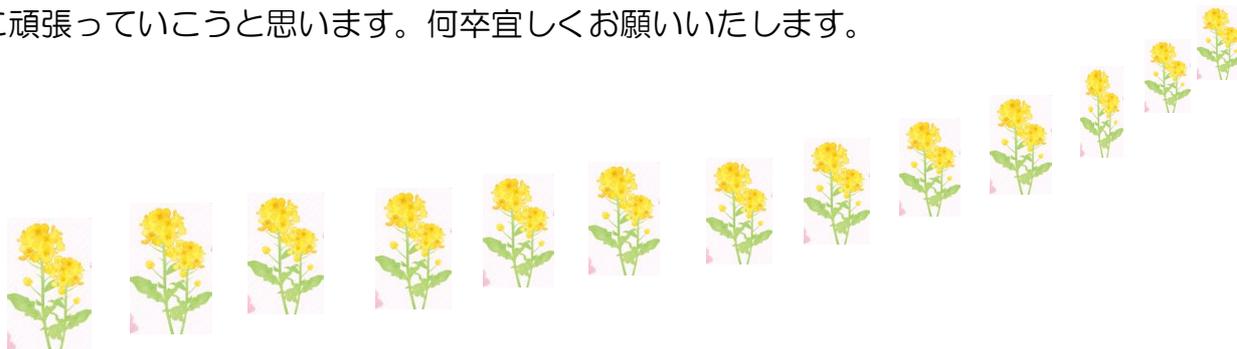
状況を整理した結果、今回の片づけは工事関係者とのやり取りを行っている本団体で行うことになりました。上司は話が終了した後、男性の意向を確認。男性は「体調が良くないので申し訳ないが手伝ってもらいたい」とのことでした。当日、男性はふらふらの状態でした。状況をみた上司は男性に、「無理のない範囲で、物の移動場所の確認等を行いながら一緒に行うことにしましょう。」と話、男性と上司、私の3人で片づけを行いました。

正直、「うちの団体で片づけます。」と言ってやるのが早かったかもしれません。でも、そのように言わずに本人の意向と体調を確認しながら一緒に行うこと、私はとても重要なことだと感じました。

入職してまだあまり日が経過していませんが、とても重要なことを学ばせていただきまし

た。

最後になりますが、大学・大学院でこれまで学んできたことをここ石巻市でも活かせるように頑張っていこうと思います。何卒宜しくお願いいたします。



## 4. 災害支援チームからのお知らせ



### 【1. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』、  
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』、  
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ』  
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅣ』の  
販売を行っています！



発災から 2011 年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011 年 10 月から 2012 年 12 月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅡ』に、2013 年 1 月から 2014 年 3 月までの災害支援チーム、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、虐待防止センターでの支援・石巻市社会福祉協議会での支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅢ』にまとめました。

そして新たに、この5月下旬に『バトンⅣ』を発行いたしました。

2014年4月から2016年3月までの災害支援チーム、石巻市での復興公営住宅への入居支援・仮設住宅被災者自立生活支援・グループワーク支援・市民活動支援の記録です。

尚、売上げの全額を皆様からの寄付として、本活動の資金にあてさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。(注文用紙はホームページからダウンロードできます)

バトンⅠ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)

バトンⅡ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=50](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=50)

バトンⅢ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=54](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=54)

バトンⅣ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=59](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=59)

## 【2. facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしく願いいたします。

URL:<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## 【3.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。」

URL:<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4..feature=youtu.be>



## 5. 災害支援ニュース発行のお知らせ

次回発行予定 **令和2年7月（暫定）**

（令和2年度は原則として4ヶ月に1回の発行となります）

### ◇ 編集後記

清水 大地

2020年の春は、感染症の影響で石巻現地でも活動自粛や延期が続いています。夢と希望の会も3月は残念ながら中止。各種会議も続々と中止の連絡が入ってきました。日常生活でも、気軽に知人たちと会うことや公共の施設を利用するにも抵抗を感じる日々が続いています。

今回の災害支援ニュースは、入職、退職職員の挨拶、震災から9年を経た3月等タイムリーな内容であったと思います。感染の拡大を防ぐ為に、業務の活動をどの程度自粛するべきかの適切な判断を迫られることが多い中での記事作成となりました。感染症に関連することが早く終息に向ってくれることを願い、編集後記と致します。



東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
令和2年3月31日 第9巻（第3号）  
作成 日本医療社会福祉協会  
災害支援チーム事務局